

議 事 録（案）

| | | | |
|-----------------|--|-------------------------|--|
| 会議名 | 令和6年度第2回寒川広域リサイクルセンター運営委員会 | | |
| 開催日時 | 令和7年2月26日（水） 14時00分～15時00分 | | |
| 開催場所 | 寒川広域リサイクルセンター 研修室 | | |
| 出席者名、欠席者名及び傍聴者数 | 出席者 菊地委員長、金子副委員長、石田委員 事務局 原田環境経済部長、大山環境課長兼リサイクルセンター場長、赤井副主幹、筒井主任主事 傍聴者 なし | | |
| 議 題 | (1) 資源物搬入・搬出量について (2) 施設見学者数について (3) 長期包括運営責任業務に係る年間運転計画について (4) その他報告 | | |
| 決定事項 | — | | |
| 公開又は非公開の別 | 公開 | 非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む） | |
| 議事の経過 | <p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 資源物搬入・搬出量について 【事務局】 <資料1により説明></p> <p>(2) 施設見学者数について 【事務局】 <資料2により説明></p> <p>(3) 長期包括運営責任業務に係る年間運転計画について 【事務局】 <資料3により説明></p> <p>(4) その他報告 【事務局】 <資料4、資料5により説明></p> <p>4 閉会</p> | | |

◆質疑応答◆

(1) 資源物搬入・搬出量について

【金子副委員長】数字的には、前年度より今年度の量が少ない方が良いのか。

【事務局（課長）】理由は不明だが量が昨年と比べると少なくなっている。来年度からは、資源が可燃ごみ置き場に出せるようになって、今までペットボトルやビン、缶をスーパーやコンビニに捨てられていたものが、近所の置き場に出しやすくなるので、もしかすると来年度からは、こういう物が増えていくのではないかと考えている。

町では、ペットボトルを買うのではなくて、マイボトルに水などを入れて飲んでくださいと推奨しているので、ペットボトルが減少してくると、そういうPRというか啓発の効果があると思ったりする。

【金子副委員長】よくコンビニに行く。朝晩、必ず、車から降りてきて、ゴミを捨ててそのまま帰る人もいれば寄っていく人もいる。今、コンビニにゴミ箱があるかわからない。

【事務局（課長）】ゴミ箱は、お店の中に入っている。スーパーなどには、ペットボトルを入れるとポイントが付くものがある。みなさん、そういうところで一生懸命に入れている。

【金子副委員長】分別のゴミ箱は、前に外にあったが、正月、神社の帰りにゴミを置いて行かれてしまうので撤去した。

【菊地委員長】搬入量が減っているということは、残業がなくなったか。

【事務局（課長）】処理する量が減っているなので、早く終わることができている。ペットボトルなどは、少し量が増えている。

(2) 施設見学者数について

【菊地委員長】資料の2の中で、小学生のことは細かく載ってない。地域での、自治会や市、年齢差の区分とか、どの学校が多く関心が高いなど、出した方が良い。

【事務局（赤井副主幹）】はい。

【菊地委員長】小学校の見学は、茅ヶ崎市と寒川町どちらが多いか。

【事務局（赤井副主幹）】数としては、茅ヶ崎市の方が圧倒的に多い。

【菊地委員長】資源の量も茅ヶ崎市の方が多く、人口も多い。寒川地区

の自治会や小学生にしても地元なので関心を持ってもらえると良い。私は小動で、年に1回、お邪魔しているが、参加者が増えなくて寂しい。もっと気楽に気軽に見学して欲しい。

【石田委員】6年度の見学者が2月、3月は、全くいないが、何か訳があるのか。

【事務局（赤井副主幹）】2月は、実際に見学がなかった。飛び込みで来ることもあるが、3月は、まだ予約が入っていない状況。

昨年度の2月、3月は、60人ぐらい、2月に42名、3月に18名の見学があった。もしかするとこの後3月に予約が入ってくるかもしれない。

【菊地委員長】入ってくれば、数字的に去年より上回るはず。

行政関係とは、どういう人達があたるのか。

【事務局（赤井副主幹）】例えば、寒川町も茅ヶ崎市も、新採用で入った職員の見学者など。

【事務局（課長）】他の自治体から見学にくることがあれば行政関係となるのか。

【菊地委員長】他県からの見学は、今もあるか。

【事務局（赤井副主幹）】今はあまりない。問い合わせは、たまにある。

【菊地委員長】去年も、今年も6月の見学者数が多い。

【事務局（赤井副主幹）】今年度の6月は、寒川町の小学校が2校、茅ヶ崎市の小学校が3校、茅ヶ崎市の中学校が1校、それぞれ人数が多いので、この月が多い。

【菊地委員長】今もガラス越しの見学か。

【事務局（赤井副主幹）】ガラス越しにも見るが、手選別室の中も入る。コロナが5類に移行したあとから手選別室にも入るようになった。

【菊地委員長】より近くで見た方が、音やにおいなどがよく分かる。

(3) 長期包括運営責任業務に係る年間運転計画について

【菊地委員長】小動神社のお祭りに職員の方が来た。ベンチも寄贈されていた。

【金子副委員長】避難訓練は、まだやっていないか。

【事務局（赤井副主幹）】この資料が2月7日時点のものなので、実施済みの表記になっていないが実施している。

(4) その他報告

事務局：1点目の報告。2/18（火）に、寒川町民センターにて「ペットボトルの水平リサイクルに関する協定」の締結式を実施した。

この協定は、ペットボトルを安定的にペットボトルとして水平リサイクルすることによって持続可能な循環型社会の形成を町内のキリンビバレッジ湘南工場と協働することで地域内循環の実現を、ペットボトルからペットボトルを作ることで二酸化炭素の排出抑制を推進することを目的としている。

協定締結式では、寒川町・茅ヶ崎市・キリンビバレッジ株式会社・リサイクラーである豊田通商株式会社の4者で、協定書の確認や記念撮影などを行なった。報道関係では、タウンニュースや神奈川新聞のほか全部で9社の参加があり、協定締結式終了後も個別に質問が出るなど、関心の高さがうかがえた。

初めての取り組みになるので、来年度は年間のペットボトルのうちの一部を、この水平リサイクルの取り組みにまわし、R8年度以降については、量を徐々に増やしていくことを考えている。

2点目にリサイクルセンターと環境事業センターを見学するバスツアーについての報告。昨年7月30日と11月22日に、リサイクルセンターと環境事業センターを見学するバスツアーを初めて開催した。

リサイクルセンターの運営事業者であるエコセンター湘南でバスを借り上げ、7月は小学生のお子さんとその保護者を対象に、11月は一般の方を対象に、町と市の広報誌やホームページなどで参加者を募集して行なった。

7月の回の参加者は24名、11月の回は4名と少し少なかったが、どちらもご参加いただいた方には好評だった。

来年度は、実施時期や対象とする年齢などを再考したうえで、開催する予定でいる。

3点目の報告。毎年5月に、さむかわ中央公園でニコニコリサイクルフリーマーケットを開催しているが、来年度から「環境フェスティバル」として、リサイクルセンターや美化センターの施設紹介ブースを設けPRしていく予定。

環境フェスティバルのチラシ（案）の2枚目に会場マップがある。右下の方に「リサイクルセンター出張講座」と「リサイクルセンターワークショップ」とある。中央公園の水路側でブースを設ける予定。

| | |
|-------------------------------|---|
| | <p>リサイクルセンターのブースでは、施設の説明のほか、手作りのランプのようなカードを使つての選別体験などを考えている。カードは、牛乳パックを再利用して作成中。</p> <p>そのほか、日程はこれから決定していくが、バスツアーや紙すき体験のチラシの配布も考えている。</p> <p>バスツアーや環境フェスティバルの参加などで、リサイクルセンターのPRに力を入れていく。5/17（土）開催予定なので、ぜひお出かけください。</p> <p>【菊地委員長】環境フェスティバルのチラシは、自治会の回覧で回るか。 【事務局（課長）】4月の広報で、大きく取り上げてもらう。 【菊地委員長】こういったパンフレットは、回覧で回ってもいいと思う。去年も広報で知らせたのか。 【事務局（課長）】去年はフリーマーケットというゴミを減らす、ゴミとして出さないでリユースするイベントを行った。それについては広報で、そんなに大きくはないが紹介をした。 【菊地委員長】参加者というか見学者はどのくらいか。 【事務局（課長）】春と秋にフリーマーケットを行った。自分のいらなくなったものを売りたいという人が80ブースぐらい出店。お客さんとしては、2,000人ぐらいの来場があった。環境フェスティバルとして一体で実施するのは、春だけ。 【菊地委員長】雨天だったらどうか。 【事務局（課長）】雨天時は、翌日の日曜日に延期。2日とも天気が悪かったら中止となる。</p> |
| <p>配付資料</p> | <p>資料1 資源物搬入量・搬出量実績（令和6年2月末現在） 資料2 令和5年度寒川広域リサイクルセンター施設見学者数 資料3 令和5年度年間運転計画 資料4 「ペットボトルの水平リサイクルに関する協定」を締結 資料5 環境フェスティバル</p> |
| <p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p> | <p>石田 稔 (令和7年3月21日確定)</p> |